

モダンワークプレイス でのビデオ会議

ソリューションを評価する13のポイント



logicool.

総保有コスト (TCO)	1
ユーザー体験	2
柔軟性	3
互換性とグローバルな展開	4
IT部門の作業量	5
インサイト	6
ビデオ会議のパートナーを知る	7
先進的なデザイン	8
ロジクールとの提携	9

モダンワークプレイスでのビデオ会議

ハイブリッドワークが一般的になってきました。企業がコラボレーションのカルチャーを構築あるいは維持して人材をつなぎとめるには、オフィスや自宅で、あるいは外出先で他の人とコミュニケーションを取り、共同作業を行うことができる、効果的なビデオ会議テクノロジーを従業員に用意する必要があります。企業が、その過程で生じる問題に対処するためには、適切なビデオ会議ソリューションのパートナーを見つけることが重要です。ここでは、お客様とその組織を成功に導く、ビデオ会議ソリューションを評価する際に考慮すべき13のポイントをご紹介します。



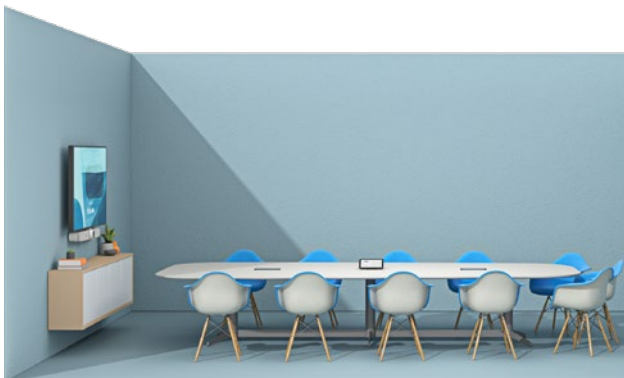
1 総保有コスト (TCO)

優れたビデオ会議体験の実現に必要なものは、ハイエンドな高額製品とは限りません。手頃な価格ですべてのユーザーに革新的かつシームレスで生産性の高いビデオ会議を提供し、全員に公平な体験をもたらして、投資価値を最大化することは可能です。

2

体験の一貫性

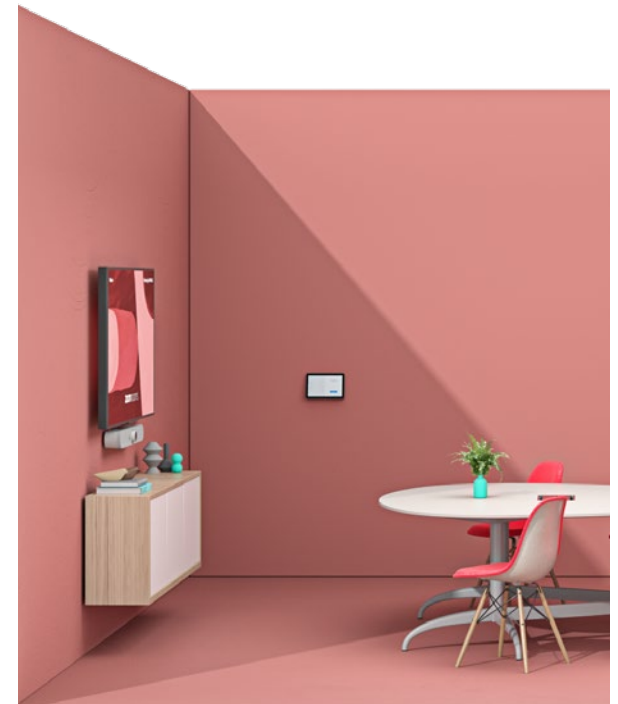
新しいテクノロジーシステム、ソリューション、ハードウェアを導入するときは通常、従業員のトレーニングが必要になります。そのため、選択したソリューションが**使いやすく、わかりやすいインターフェイスを備え、あらゆる環境で一貫した体験を提供できることがきわめて重要になります**。それにより、追加のトレーニングの必要性が減り、より迅速な導入が可能になります。結果として、これまで以上に生産性の高いコラボレーション体験を実現できます。



3

総合的なソリューション

ビデオ会議に求められるものは、より高度なものとなっています。IT部門は、単なるビデオ以上のものを提供するビデオ会議ソリューションのパートナーを必要としています。今日の**最も優れたビデオ会議パートナーは、総合的なソリューションを提供しています**。そうしたソリューションは、IT部門の購入判断を簡単にし、IT部門は組織の全従業員に向けて、より一貫した体験を提供できます。誰もがメリットを得られるソリューションです。ユーザーの利用が促進され、IT部門への要求は減ります。





4 柔軟性

ビデオ会議は急速に進化しています。選択したソリューションに、最新かつ柔軟性の高いハードウェアとソフトウェアが用意されているか確かめましょう。柔軟性の高いソリューションは、ニーズの変化に応じてソフトウェア プラットフォームやオペレーティング システムの変更などを行うことができ、投資を容易に拡大することができます。 **複数の主要なビデオ会議プラットフォームとシームレスに連携し、複数のオペレーティングシステムや導入方法をサポートしている** ソリューションを選びましょう。



5 専門性の共有

実績のあるテクノロジーパートナーは、製品認証の共有を含め、業界内で長年にわたりさまざまな関係を構築しています。検討中のソリューションは、ニッチ市場に特化した企業が開発した、専門家向けデバイスですか？そのソリューションは、複数のビデオ会議プラットフォームで認定され、サポートされていますか？ビデオ会議ソリューションのパートナーが、お客様の組織に適したソリューションを提供し、必要に応じて支援を提供するための**業界に関する必要なレベルの専門知識**があることを確認しましょう。

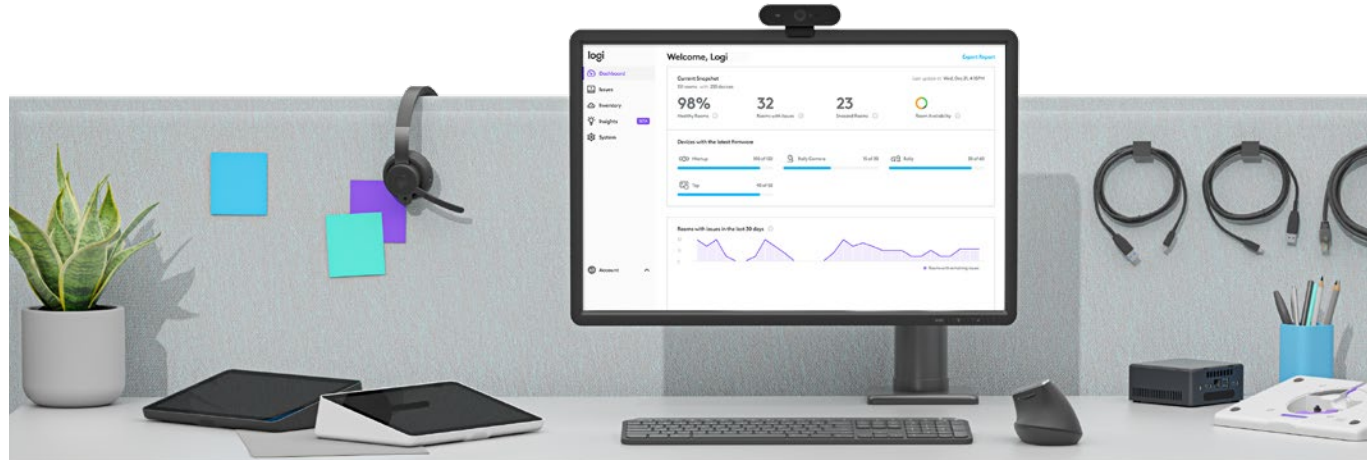
6 グローバルな展開

国内や世界中で大規模に事業を展開しているビデオ会議ソリューションのパートナーは、ユーザーのコストを削減し、IT部門の負担を軽減します。**事業の展開範囲が自社と同等なソリューションパートナーを選ぶ**のが最もよいでしょう。そうすれば、各地のオフィスごとに必要に応じて製品やサービスに直接アクセスできるようになり、IT部門は現地のオフィスと関係を築いてサポートを受けることができます。

7

平均インシデント間隔 (MTBI) の長さ

最近の電子機器は信頼性が高いとされています。平均故障間隔 (MTBF) は、信頼性を測るための一般的な方法です。しかし、これによってわかることだけでは不十分です。平均インシデント間隔 (MTBI) は、より価値の高い指標です。ビデオ会議システムはその性質上、ネットワークの末端の現場で使用されます。したがって、一見ささいなインシデントでも大きな波及効果を生む場合があります。オフィスワーカーとリモートワーカーの両方をサポートする必要から、ITリーダーの責任は増しています。**信頼性の高い製品を提供している、有能なビデオ会議ソリューションパートナーなら、ITリーダーの負担を軽減できます。**



8

リモート管理

ビデオに関するサポートへの期待は、IT部門が自力で対応できる範囲を超え、より急速に膨らんでいます。「ビデオをすべての場所に」行き渡らせるには、多くの機器が必要です。そして多数の機器を保有すれば、多数の機器を管理する手段も必要になります。あらゆる規模のビデオデバイスと会議室を効率的に監視、管理、測定できる**リモート管理ソリューション**で、IT部門を強化しましょう。





9 インサイト

ROIを立証することは、経済活動、とりわけ新しいテクノロジーを利用する経済活動において避けて通れません。ROIを測定する最善の方法は、正確なレポートを作成することです。従業員はビデオ会議を何回行ったのか？ビデオ会議はいつ、どの程度の時間行われたのか？ビデオが使われていない会議室では何が起きているのか？20人用の会議室を4人で使用したのか？あるいは、15人用の会議室を20人で使用したのか？ビデオ会議ソリューションで**簡単に利用できる正確で詳細なレポートを作成できることを**確認しましょう。その機能があれば、正確で詳細なレポートを必要とする人に提供することができます。



10

ブランドの力

成功したマーケティング担当者は誰もが「ブランドを成功させる要因は数多く存在するが、最も重要なのは**高品質な製品やサービスを提供してきた確かな実績**である」と言います。そこで、次のことを自問してみましょう。現在利用中のソリューションプロバイダーは、イノベーションと信頼性に定評があるか？同社は拡張可能なビジネスを行っていることで知られているか？こうした問いに肯定的な答えが出れば安心です。同様に重要なのが、重点が置かれている製品です。ビデオ会議テクノロジーに特化したソリューションパートナーは、本業以外のビジネスとして参入しただけのプロバイダーよりも、優れたソリューションを提供できます。

11

倫理とサステナビリティ

企業倫理とは、企業行動の指針となるモラルや信念のことです。経営者が倫理的に動けば従業員はそれに従います。**倫理的なビデオ会議ソリューションパートナーを選ぶことで、より良い判断**をより短い時間で、しっかりとした企業倫理を指針として、下せるようになります。サステナビリティは、世界的にも地域的にも日々重要性を増しています。気候変動対策への取り組みやカーボンニュートラルな製造方法など、サステナビリティに関する取り組みを通じて世界に対して責任を果たしている、ビデオ会議ソリューションパートナーを見つけましょう。

12

企業の参考情報

ビデオ会議ソリューションのパートナーを検討する際には、**ユーザーレビュー、成功事例、推薦者の言葉などをチェック**するようにしましょう。これまでのユーザーは、そのブランドに満足しており、支持しているか？受けたサポートのレベルに満足しているか？プロセスの各ステップが期待通りに実施されたと感じているか？ユーザーレビューには、製品説明や仕様書をはるかに超えた、製品やソリューションに関する詳細な情報が含まれていることがあります。



13 先進的なデザイン

製品デザインとは、突き詰めればお客様のニーズを製品の特性に結び付けることです。最終目標は何でしょうか。ユーザー中心の価値を提供することです。デザインは、お客様が特定の製品に対して最初に抱く印象に影響を与え、購入の判断につながるものです。**直感的にデザインされた、美しく魅力あふれる製品は、より積極的かつ迅速に受け入れられます。**最も優れたビデオ会議システムは、優れたデザインの高品質なデバイスを備えています。



ロジクールとの 提携

1981年に創設されたロジクールは、人々をつなぎ、デジタルの世界での交流を促す、さまざまな製品や体験をデザインしてきました。革新的でユーザー中心の製品デザインは、ロジクールの製品開発において常に最優先され、真にユニークで有意義な体験を実現しています。卓越した、それでいて手頃な価格のビデオ会議ソリューションは、対面での会議を可能にし、より思慮に富んだコラボレーションに加え、よりクリアな映像と音声によるコミュニケーションも促しています。ロジクールは、テクノロジー パートナーと緊密に連携して、高い柔軟性と優れたユーザー体験を提供しています。

logicool.

Google Workspace

Microsoft

zoom

RingCentral®

GoTo

] pexip[

ロジクールは、モダンなハイブリッドワークスペースのための、ビデオ会議ソリューションパートナーです。



logicool

www.logicool.co.jp/vc

購入前のお問い合わせ：

株式会社ロジクール
<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/video-collaboration/help/contact-sales.html>

購入後のお問い合わせ：
株式会社ロジクールカスタマーレソリューションセンター
<https://prosupport.logi.com/>

発行：2021年11月

ビデオ会議は今やサービスとして成熟し、主要な生産性向上要因としてあって当然のものになっています。ロジクールソリューションは、小、中、大会議室向けの構成という枠を越え、従業員がオフィス勤務に復帰する、しないにかかわらず、進化し続けるハイブリッドワークスペースに対応します。

ロジクールのソリューションは、生産性や体験において妥協することなく、チームがあらゆる場所からコラボレーションすることを可能にします。

詳細：www.logicool.co.jp/vc

© 2021 Logitech, Logicool. All rights reserved. 株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、この出版物に存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。本書に含まれる製品、価格設定および機能情報は、予告なく変更される場合があります。